

○事業概要（地域の現状・課題、地域活性化に向けた考え方）

都心からほど近い、日本らしい自然、伝統文化の残る「ちかいなか秩父」としての資源を活用し、滞在型観光、外国人誘客の増加を目的とする。そのために日本版DMO登録法人である（一社）秩父地域おもてなし観光公社」を事務局として「秩父温泉郷」として地域をまとめ、宿泊施設を核とし、地域の食とそれに不可欠な気候、風土、景観、歴史などの観光資源の活用取組みを一体化に推進し、共同購買システム（地域商社）を構築して効率的な観光地経営を図りたい。

取組内容

- 秩父温泉郷のブランドづくり「秩父温泉郷」として地域団体商標を取得し、滞在型観光を推進する。
- インバウンド観光の推進「秩父温泉郷」観光素材のブラッシュアップ、情報発信
- 地域商社（共同購買）「秩父温泉郷」向けの食料品やアメニティー等の開発・地域内流通システムのモデル構築。

実施スケジュール

- ・平成30年5月～ 地域内連携、「秩父温泉郷」商標申請、共同購買モデル検討（ワークショップ）
- ・平成30年8月～ 地域外発信、「秩父温泉郷」集団化による首都圏、海外向けPR推進
- ・平成30年12月～ 地域内誘客、共同購買トライアル開始

連携内容

秩父温泉郷推進協議会

地域内 宿泊温泉施設

新木鉱泉、だいます旅館、農園ホテル、ばいえる、谷津川館、和銅鉱泉旅館、PICA秩父、武甲温泉、梁山泊、宮本家、竹取物語、はなのや
（12軒）
※17軒を予定

西武鉄道
祭の湯

レストラン

（一社）秩父地域おもてなし観光公社
（地域連携DMO+地域商社）

共同購買

流通システム

地域団体商標

地域全体

【秩父温泉郷】
ブランド確立

- 延べ宿泊者数目標(人)
- 30年度 480,000
- 31年度 490,000
- 32年度 500,000

実施体制スキーム

■ 秩父温泉郷推進協議会：一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社（秩父市、小鹿野町、皆野町、横瀬町、長瀬町）、西武鉄道（西武駅前温泉祭の湯、レストラン観光列車52席の至福）、地域内宿泊施設13軒（平成30年度5月現在）、観光農林業協会（ちちぶ農業協同組合）、秩父4Hクラブ（秩父農業青年クラブ）、埼玉県、秩父 CLUB RED RESTAURANT（秩父地域飲食店団体：ぐるなび）